

アプリで配車・支払できる、 住民がドライバーの公共交通

京都府京丹後市 特定非営利活動法人気張る！ふるさと丹後町

1. 活動団体の概要

2004年に丹後町を含む6町が合併して京丹後市が誕生した際に、地元丹後町の活性化を図るため「まちづくり協議会」が組織されました。その協議会から市長に提言を出すのを機に、2009年10月特定非営利活動法人（NPO法人）「気張る！ふるさと丹後町」が設立されました。

設立後は、地域活性化の活動にいろいろ取り組みなかで、2014年に京丹後市から委託されて、前日予約制の「市営コミュニティバス」を我々NPOで運行することになりました。

それでも、移動の不便さはまだまだ解消されなかったので、2016年に「行きたい時

に即どこへでも行ける」交通手段として、道路運送法に基づく自家用有償運送の「公共交通空白地有償運送」である『ささえ合い交通』を運行開始しました。住民や観光客の好評を得て2022年5月には6周年を迎えることができました。

2. 『ささえ合い交通』の概要

『ささえ合い交通』は、住民がドライバーとなり、自分のマイカーを使ってタクシールのようなドア・ツー・ドアの運行を行うものです。

①スマホを使いUber（ウーバー）のアプリで配車するという「デジタル化」を実現したICT公共交通として毎日運行しています。



アプリで配車する高齢者と活躍する女性ドライバー





定期的に開催のドライバー会議

ます。スマホのアプリで配車するマイカーを使った「**「自家用有償運送」**」は日本初であり、ドライバーもスマホのウーバーアプリのみで対応しており、車両には機器は一切

設置していません。

- ②配車依頼は、Uber（ウーバー）のアプリを使って直接配車します。スマホを持っていない高齢者を考慮し、電話をかけて配車してもらう「代理配車制度」もあります。
- ③運賃の支払方法は、アプリに登録した「クレジットカード」で支払う「デジタル決済」が基本ですが、高齢者を考慮し「現金支払い」も可能にしています。
- ④運行時間は、午前8時～午後8時まで、年中無休で運行しています。
- ⑤利用者は、丹後町民および町外からの観光客等だれでも直ぐに利用できる形になっています。

- ⑥ドライバーは、地元の住民が務めており、現在14名が国土交通省へ登録しています。
- ⑦使用車両は、ドライバー個人が所有するマイカー（自家用車）を使っています。



Uber(ウーバー)のアプリの配車画面

■安全運行管理の徹底

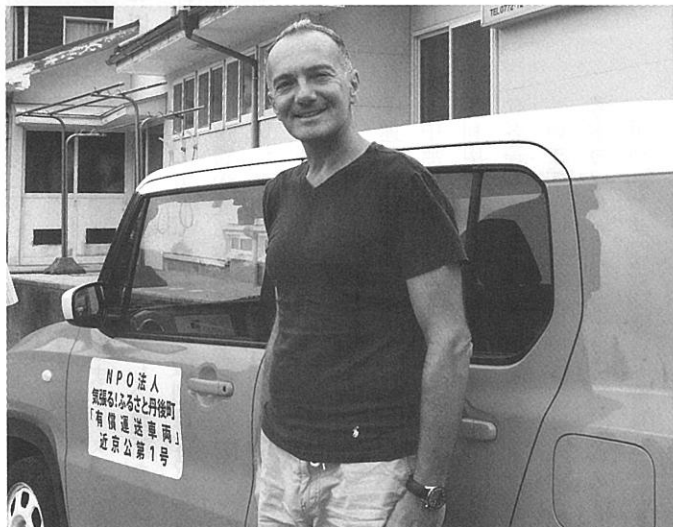
- さらに、安全運行の管理も徹底しています。
- ①毎朝、運行管理者等が、当日運行するドライバーに対してアルコールチェックや健康状態について確認し、記録しています。
- ②ドライバー会議や警察による安全運転講習を定期的に開催し、安全運行の向上と改善を図っています。

3. 「ささえ合い交通」のメリットと成果

- (1)メリット
スマホとマイカーを使い、住民がドライバーとなって運行する『ささえ合い交通』のメリットは次のとおりです。
- ①Uber（ウーバー）のアプリを使うので、電話受付とドライバーを呼び出すための事務的な「人的負担がゼロ」で済みます。
- ②利用者は、アプリで、行きたい時に即配車して移動できます。
- ③ドライバーも、Uber（ウーバー）アプリを使用し、「オンライン」と「オフライン」の切替で「運転する」「運転しない」の意思表示が簡単です。
- ④マイカーとスマホを使うのでどこでも待機でき、女性もドライバーとして活躍しやすいです。



『ささえ合い交通』で運転するドライバーのマイカー（自家用車）とユニフォーム姿



Uber のアプリを使うので、外国人は多言語で配車でき「インバウンド」の観光利用が可能

⑤遊休資産と言える日頃使われていないマイカーを活用することでライドシェア型運行が実現されています。

⑥行政コストの負担がゼロであり、補助金なく運行しています。また、ドライバーが所有するマイカーを利用するため、車両購入費も不要です。

(2)これまでの成果

『ささえ合い交通』の現在までの成果としては、次の点があげられます。

①通院や買物の移動にドア・ツー・ドアで便利であり、特に高齢者の利用が多くとても役立っています。

ただし、現状問題点もあり、丹後町外にある京丹後市内の病院からの帰りは、タクシー事業者との競合の関係で『ささえ合い交通』に乗って帰ることが認められなくなり、不便な状況があります。

②Uber（ウーバー）アプリは、世界の多言語対応しているため、外国人が利用しやすく、「インバウンド」の観光利用が通訳

不要でできます。

③利用者からはとても好評を得ており、以下に利用者の声をあげます。

・これまで病院へ行くのにバスで行っていましたが、バス停まで遠く歩くのが大変でした。しかし、『ささえ合い交通』は玄関から病院の入口までらくらく行けるので重宝しています。利用したい時すぐにご利用できるのもいいですね。

・老人クラブの懇親会の行き返りに利用しています。お酒が飲め、丁寧に運転してもらってよかったです。

・病院に行くのに路線バスに乗り遅れてしまいました。次は1時間後なので困っていたところ『ささえ合い交通』を思い出し、配車をお願いしました。すぐに病院に行けて喜んでいきます。

・旅館のおかみさんからは、『ささえ合い交通』のウーバーアプリは多言語対応しており、海外からの宿泊客に海岸ジオパーク観光で使ってもらっています、と高い評価を得ています。

④運行開始から今日まで、北海道から沖縄県まで各地の移動問題に困っている自治体や民間団体および大学等が視察に250件以上来られており、関心の高さを感じます。

（特定非営利活動法人気強るふるさと丹後町

専務理事 東恒好）